

# Moshi- Mosu

もっと知れば、  
もっと好きになる！  
長岡京市の歴史・文化財

III

Vol.19  
2022  
spring

# Continuum.

歴史は繋がっていく



昭和47年（1972）に誕生した「長岡京市」は、もうすぐ50歳。  
目まぐるしく変化してきたこのまちは、どこへ向かっていくのだろう。

・・・西山の緑、歴史文化、交通の利便性。

この50年、変わらず大切にしてきたまちの魅力を  
さらに次の50年へ大切に繋げていきたい。  
だからいま、もう一度“かしく暮らしっく”なまち  
の歴史文化にふれてほしい。

1972

Commencement



1982

Research Center



2002

Memorial Museum



Continuum.

2022

歴史は繋がっていく



2007

Traditional House

Nagaokakyo City 50th Anniversary

京都府長岡京市 市制 50 周年

未来につながる  
今をつたえる

# Connect to the future.

長岡京市の歴史は、文化財とともに歩んできた50年でした。市制施行後10年で埋蔵文化財の専門機関を立ち上げ、市名である「長岡京」の解明につとめた中山修一氏の記念館をはじめ、文化財をもっと感じてもらえるように整備を進めてきました。

神足ふれあい町家

Kotarifureaimachiya - Traditional House



15th

西国街道沿いにある旧石田家住宅を改装した交流施設。平成19年(2007)にオープンし、カフェや様々なイベントの場として親しまれている。建物は幕末頃に建てられたもので、商家と農家の性質を併せ持った住宅様式が、京都近郊の建物の特徴を今によく伝えていることから、平成12年(2000)に国登録有形文化財に登録されている。

中山修一記念館

Nakayama Shuichi - Memorial Museum



20th

平成14年(2002)、「長岡京発見の父」中山修一氏の生家を改修した長岡京の情報発信拠点。中山氏は水田の長さから長岡京跡の存在に気づき、現地を歩き、地名や文献と向き合いながら「長岡京条坊復元図」を完成させた。昭和30年(1955)に発掘調査で長岡宮朝堂院中門を発見して以降、本市の文化財保護に尽力された。記念館では当時の愛用品や記録などを展示。

埋蔵文化財調査センター

Maizobunkazai - Research Center



40th

宅地開発が盛んになる中、本市の埋蔵文化財を保護・活用するため昭和57年(1982)に設立。長岡京跡をはじめ多くの遺跡を発掘し、調査・研究を行ってきた。調査の増加とともに長岡京が完成度の高い都であったことが解明され、1990年代前半には教科書にも「長岡京」が記載されるようになった。毎年かわる企画展示や速報展示が開催され、プレゼント企画などもある。

歴史文化を未来へ繋げていく・・・。

「これからの50年。歴史文化を守り伝えていくのは皆さんです」と簡単に言われても、何をどうすればいいのかわからないですよね。

長岡京市文化財保存活用課では、次の50年に向けて、皆さんとともに文化財を守り伝える仕組みを検討しています。第1弾として、「文化財保存活用地域計画」の策定。第2弾として、新たに建設中の市庁舎に展示施設の設置を計画中です。もっと多くの文化財を皆さんに公開できるようにすれば、もっと触れ合える機会が増えます。

また、この節目の年に、立ち止まって身近にあるものを見渡してみてください。皆さんにもできることがたくさんあります。身近な知ってるようで知らないものを調べてみましょう。聞いてみましょう。教えてあげましょう。それだけで歴史は繋がっていきます。

継承と発展 “8万人とつなぐバトン”



長岡京市は、今年50歳の誕生日を迎えます。(1972年10月1日市制施行)市内に住んでいる人たちはもちろん、通勤・通学、あるいは遠くで長岡京市を思ってくれる全ての人で「私たちのまち」をお祝いしましょう。みなさんが参加できるイベントをどんどんアップしていきます!「こんな企画・イベントがあればいいな」などのご意見おまちしております。



記念事業はこちらをチェック!

# Topic!

最近の文化財トピックを紹介していきます！今年も新型コロナウイルス感染症の影響で多数のイベントが中止や縮小を余儀なくされましたが、本市では様々な文化財の修繕や調査を行ってきました。新たな発見目白押しだったこの一年！次号以降も紹介していきます。

## 市指定有形文化財

# 勝龍寺木造聖観音立像

しょうりゅうじもくぞう  
しょうがんのりゅうぞう

ラッパアップ!

## 京都府 指定有形文化財 木造菩薩立像

令和3年3月30日

京都府指定有形文化財に指定され、指定名称が変わりました。

時代：鎌倉時代

法量：像高 95.8 cm

いちぼくわりはぎづくり

構造：一木割刳造（一つの材を前後に割り、内割りをしたのちに組み合わせる技法）

えげさん

所在：恵解山勝龍寺（京都府長岡京市勝龍寺 19-25）

勝龍寺本堂に安置される本像は、非常に高い髻やひきしまった量感ある体軀の表現などに、鎌倉時代前期の特徴があらわれています。特に髻や耳の形などは、仏師快慶の作風との共通性がうかがえ、快慶周辺の慶派仏師によって制作されたものと考えられます。また、胸前に宝珠をささげる姿勢は鎌倉時代には類例のない非常に珍しいものです。



# Event

## タイムスリップ写真を撮ろう!

昔の写真を見返していると、家族や友だちとの思い出の場所がどうなっているのか気になることってありますよね。市制50周年を迎えるこの機会に訪れてみてはどうでしょう？  
きっと新しい発見がありますよ！



あれ？  
今、この場所って  
どうなってるっけ？

●ポイントは、  
古い写真を用意して、  
今あるものを見つけて、重ねるだけ!!



## 長岡京タイムスリップ写真館

家に眠っている昔の写真はありませんか？  
一言コメントを添えて、みんなでシェアしよう！

### ●応募方法

以下のいずれかの方法で投稿してください

・インスタグラムで「#長岡京タイムスリップ写真館」をつけて投稿

・メール (kouhou@city.nagaokakyo.lg.jp まで)

・郵送 (〒617-0826 長岡京市開田1丁目1番1号、長岡京市役所広報発信課まで)

### ●問い合わせ

対話推進部広報発信課広報戦略担当 電話：075-955-9660

インスタでは  
フォトコンテストも実施中!!  
3月末まで

